

3年	課題分析	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○書くことに苦手意識をもつ児童が多く、読むことや書くことの指導に時間がかかる。 ○漢字の定着に個人差が見られる。 ○自分の考えの理由をに時間がかかることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読解のスキルを分かりやすく身に付けられるように、スモールステップの学習を取り入れる。また、単元ごとに身に付けたい力を絞って単元計画を考え、年間を見通して積み上げる。 ○言語活動「それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を多く取り入れ、意欲につなげ、思考力、判断力、表現力を育てていく。 ○様々な形式の書く活動を意図的に取り入れ、基礎的なスキルの向上とともに、伝える楽しさを実感させていく。書き慣れることと、語彙を増やすことを目的として、日常的に日記や短文に取り組みようにする。 ○授業の中では、新出漢字の習得時に言葉広げなどをして、語彙力とともにスキルを高めていく。また、個人の能力に合った漢字練習法を提案し、自分に合った方法を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【言葉による見方・考え方】言葉の意味・関係、使い方などに着目しながら、スモールステップで文章を書いたり、メモしたりするなど自分の思いや考えを言葉で表現する活動を多く取り入れる。 【対話的な学びの視点からの言語活動の充実のための工夫】ペアやグループ学習を取り入れ、相手に伝えるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積ませ、言語活動の充実を図る。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○問題文から演算決定をするための情報を読み取る力が弱い。 ○様々な大きさに対する量感が不足しており、単位の換算(m→cm、kg→gなど)が未定着な児童がいる。 ○身の回りの事象を簡潔に表現するために、グラフを活用できる児童が少ない。 ○ベーシックドリル診断シートの結果、「式の表し方」「箱の形」の定着に課題があることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科での学習に概数の考えを用いたり、生活の中で概数を用いる場面を想起させたりして活用する力を養えるようにする。 ○問題文をよく読んで、図に整理する学習を繰り返し、元にする量を捉えることができるようにする。 ○小数の四則計算の反復練習を学習の初めに行い、基礎的なスキルの向上を目指す。 ○ベーシックドリルを活用し、課題のある領域の定着を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学びに向かう力・人間性】数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとする態度を養うようにする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○動植物の飼育など体験的な学習を継続的に行ったことで、興味・関心が高まり、知識・理解にもつながった。 ○ノートの取り方、実験記録のかき方が乱雑になり、読み取りにくい児童も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入を工夫し、学習の流れをつかませ、課題をもたせて学習を進める。 ○観察する際には、比較しながら調べる能力が身に付くように、視点をしっかり押さえて指導する。 ○板書を簡略化し、プリントやシートなどを活用しながら、書き方の指導を継続的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学びに向かう力・人間性等】自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察や実験を行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実させる。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○「町探検」などを行ったことで、学区の学習への興味・関心・意欲が高まった。 ○地図や表などの資料の見方については、初めての経験でもあるので個人差が大きい。更に、地図などをもとに考える経験が少ないために、資料活用能力や社会的思考については、2学期以降に高めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料活用能力や社会的思考の定着を図るために、地図や表の見方について指導し、それをもとに調べたり、考えたりする活動を多くする。 ○既習事項の方位や地図記号なども、日常的に学習場面に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【思考力、判断力、表現力等】「考えたこと」に加え、「選択・判断したこと」を文章で記述したり資料などを用いて説明したり、話し合ったりする力を養う。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽のよさや楽しさを感じて、のびのびと表現する児童が多いが、発言や発表は、消極的な児童もいる。 ○楽曲の特徴を捉えて、表現の工夫したり、どのような演奏にしたいか友達と協働して活動を楽しめる児童と、苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体指導だけではなく、学習形態を工夫し、少人数で意見を交流させ、自分の思いや考えをもち、自信がもてるようにする。 ○思いや意図にあった表現をするための技能の習得を意図的・計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現をしたり音楽を聴いたりする過程において、「音楽的な見方・考え方」を働かせて、互いに気づいたことを交流したり、共感しあったりすること。【対話的な学び】 	R2夏完了
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○「感性や想像力を働かせて、「表現したり鑑賞したりする」資質・能力を、スパイラルに育成する必要がある。 ○思考力・判断力・表現力等を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の場面で言語活動か、非言語活動を意識して取り組む必要がある。 ○生活を豊かに美しくする造形や美術の働き、美術文化についての理解を進める学習を充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするため、学習の場を工夫する。一人一人の目標や課題意識をもって、練習に取り組めるように様々な活動ができるようにする。 ○授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。 ○良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教え合ったり、工夫したりする場を設ける。 ○スモールステップで取りまわせることを心掛け、運動遊びの楽しさに触れる機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図画工作科においては心と体を使って(触れたり、)感じたりする体験や、人との関わりを通して良さや価値を実感する活動を重視している。「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、活動と学びの関係性や、活動を通して何が身についたのかという視点から、学習・指導の改善・充実を進める。 	R2夏完了
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動を楽しみながら取り組む児童が多いが、体の使い方を意識して取り組める児童は少ない。 ○柔軟性に欠く児童やバランス感覚が必要な動きを苦手とする児童が多く、技が高まりきれない。 ○チーム対抗など協力して取り組むことが、意欲につながり、児童間での助け合いや声の掛け合いが見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を明確にし、自分にあった練習の場を選んで活動させる。 ○運動の楽しさを維持しながら、多様な動きを学習に取り入れるようにする。 ○体の使い方を意識できるように、教具を工夫する。 ○チームでの活動を取り入れ、良い動きを賞賛したり、取り入れたりするように声を掛ける。 ○校内の体力向上月間や縄跳び月間等での活動に意欲的に参加させる。 ○活動に対する意識を高めるために、めあての確認と振り返りが行えるように、学習カードなどを工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学びに向かう力・人間性等】自ら体を動かして活動することの楽しさや喜びを味わい、楽しい生活を営むための態度を養う。そのために、運動や健康についての興味・関心高め、自ら取り組み、考察しながら学習を振り返り、新たな課題等に向かって学びに繋げていけるようにする。 	